



兵庫県議会議員 麻田ひさみ

あさだより

VOL.17



～一人に寄り添い、未来を拓く～

日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
 新緑の眩しい季節となりました。連休も終わり、皆さまそれぞれに日常へ戻られたことと存じます。
 さて、依然として続くエネルギー価格の高騰は、事業者の経営や暮らしに深刻な影響を及ぼしています。
 公明党では3月末から4月にかけて原油高の影響について全国調査を実施し、4月末には国会・政府に対し迅速な支援策を講じるよう緊急申し入れを行いました。
 私のもとにも、「仕入れ値が上がっても販売価格に転嫁できない」「燃料の今後の調達が不安」といった地元企業の切実な声が寄せられており、現場の厳しさを強く実感しています。
 国・県・市が連携し、地域経済と暮らしを守る実効性ある対策を着実に進めることが不可欠です。
 私も引き続き現場の声を県政・国へ届け、地域の暮らしと雇用を守るため全力で取り組んでまいります。



国・県・町をつなぐ報告会

「国・県・町をつなぐ報告会」を猪名川町議会の阪本議員、中井議員とともに開催いたしました。当日は伊藤たかえ参議院議員にもご参加いただき、国・県・町それぞれの立場から、地域課題への取り組みや令和8年度の施策・方向性についてご報告させていただきました。



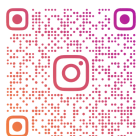
兵庫県立リハビリテーションセンター視察

同センターは、高次脳機能障害支援拠点機関として医療・福祉・就労を総合的に支援しています。高次脳機能障害への理解を深めるとともに施設内の取り組みや支援体制について学ぶ貴重な機会となりました。



憲法記念日街頭活動

「平和と人権尊重の社会に！」との思いを込め、公明党として街頭演説を行わせていただきました。



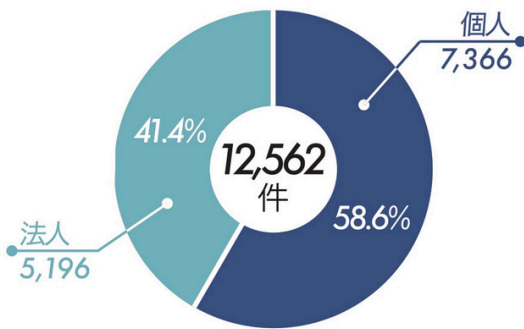
日常の活動をインスタで配信しています！
 ぜひ！フォローをお願いします

1万2000件もの ご回答を頂きました。 ご協力、ありがとうございました。

中東情勢の緊迫化によって原油価格が高騰し、電気料金やガソリン代だけでなく、身の回りの多くのモノの価格高騰が心配されます。そこで、公明党・中道改革連合・立憲民主党が協力して、皆さんの「今の声」を地域で、現場で、直接お聞きするアンケートを実施しました（3月27日～4月13日）。

98.2%が物価高を実感。 生活・事業両面で深刻な影響

アンケート集計結果（回答件数）



現時点での物価に関する見方は？

選択肢	回答数	構成比
かなり上がった	5,958	80.9%
少し上がった	1,274	17.3%
あまり変わらない	120	1.6%
その他	14	0.2%

アンケートは、個人から7366件、法人から5196件のご回答を頂きました。

個人では、物価が「上がった」と実感されている方が全体の98.2%（「少し上がった」を含む）、生活へ「影響がある」と回答された方が92.8%（「やや影響がある」を含む）となりました。

電気・ガソリン代の負担軽減、 事業継続支援を求める声が多数

また自由記述欄にも5140件の回答が寄せられ、これらを含めた全体から、足元の原油等の物価高騰は、生活・事業の両面で深刻な影響が生じており、最優先の政策ニーズは電気代、ガソリン代等のエネルギー負担軽減と事業継続に向けた補助金の拡充であることが明らかとなりました。

今後期待する支援策は？（個人、複数回答）

選択肢	回答数	回答率
電気・ガス料金の引下げ	5,533	75.1%
各種補助金（燃料費補助など）の拡充	4,916	66.7%
食料品消費税0%	3,814	51.8%
低所得者向け生活支援給付金	2,242	30.4%
子育て・教育支援の拡充	2,222	30.2%
省エネ設備など設備投資への支援拡充	1,819	24.7%

地域や現場の声を受け、 政府に政策提言を 行いました

皆さんの声を正面から受け止め、ご要望の多かった政策を具体化して、4月28日に政府へ政策の緊急提言を行いました。内容は以下の通りです。



「緊急提言」の詳細はこちら⇒

